

令和7年度「健やかな体」育成プログラム

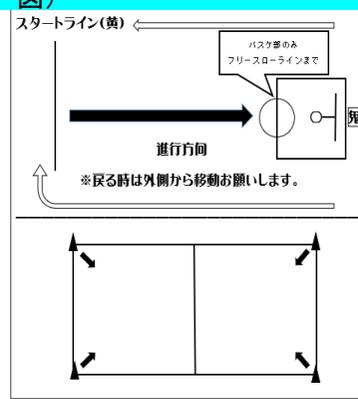
学校番号：33010
 学校名：札幌市立元町中学校

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果

分析

体力・運動能力 <男子>	○全国平均と比較し、記録が上回った種目 1年 なし 2年 上体起こし、反復横跳び、立幅跳び 3年 立ち幅跳び	○全国平均と比較し、記録が大きく下回った種目 1年 反復横跳び、50m走、ハンドボール投げ 2年 握力、50m走、ハンドボール投げ 3年 立ち幅跳び以外の項目	○全国平均と比べ、運動能力が低い種目が多い。 ○1学年は半数以上が総合評価D・Eとなっている。 ○全学年、50m走、ハンドボール投げの項目が特に低い。
体力・運動能力 <女子>	○全国平均と比較し、記録が上回った種目 1年 長座体前屈 2年 長座体前屈 3年 なし	○全国平均と比較し、記録が大きく下回った種目 1年 20mシャトルラン、50m走、ハンドボール投げ 2年 握力、上体起こし、長座体前屈、50m走、ハンドボール投げ 3年 全ての項目	○女子は柔軟性以外ほとんどの種目で全国平均を下回る。 ○3学年は全ての項目で全国平均を大きく下回る。 ○特に50m走、ハンドボール投げの項目が特に低い
運動・スポーツへの意識、運動習慣	○「体育授業以外の運動・スポーツ実施状況 週3日以上割合」(R5年・全学年平均) 男子：65.1%、女子：48.3%	○「運動やスポーツが大好き(好き)である」と回答する子どもの割合 (R5年全学年 平均) 男子 79.6% 女子 58.7%	○運動機会が週3日以上生徒の割合、運動やスポーツが大好き(好き)である生徒の割合に男女差が大きくみられるため、男女共修の授業において、ともに楽しめる場の工夫を行う必要がある。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③健康に関する指導の充実
--------------	------------------------	------------------------------	---------------------

具体的な取組	○運動の「できる」を実感する指導の充実。(ルーブリックの活用、スモールステップの個別の目標設定) ○ICTを活用し、自らの動きのフィードバックと目標設定への意欲向上を図る。 ○運動意欲向上のための掲示、運動習慣化の工夫の増加 ○生涯スポーツ教育機会の充実	○生徒会活動(委員会活動)主導での体力向上の取り組みの充実 ↓ 運動機会の少ない生徒が参加できる活動 【令和6年度実施例】 「元町大戦2nd」 図)  全学年対象で運動機会が減少する冬季に実施。 運動意欲の向上、体力を高めることを目的に実施。	○正しい知識を学び、自らの健康や安全について考え行動できる(ヘルスプロモーション)よう成長段階に合わせた指導の充実を図る。 ○社会の情勢に目を向け、健康について考える機会の充実 ○個に応じた相談活動の充実 ○健康に関する講習会の充実
---------------	--	---	---

検証の方法	○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用(日常の実技テストや観察等) ○学校独自の調査結果(体力テストの独自分析)等を活用 ○生徒アンケートや保護者アンケート(学校評価)の活用 ○学校関係者評価の活用
--------------	--